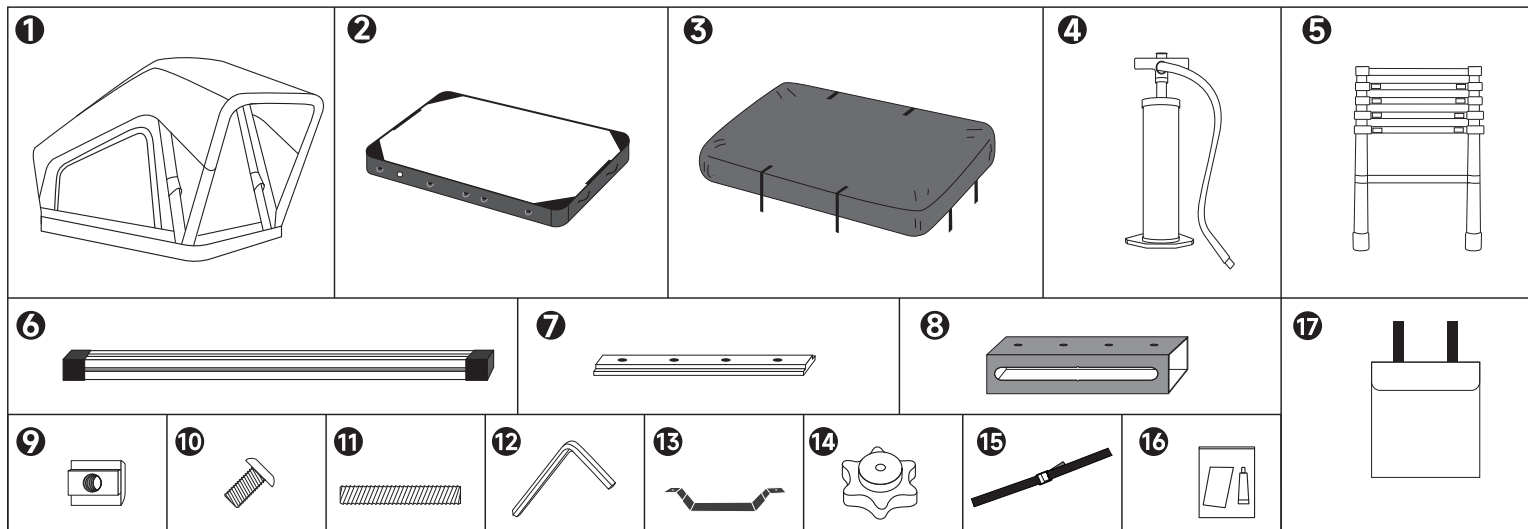




peakpod | Inflatable Roof Tent
取扱説明書

付属品明細

1/9



① エアフレームテント x1

② エアマット x1

③ カバー x1

④ エアポンプ x1

⑤ 伸縮式ハシゴ x1

⑥ 連結式アルミバー x6

⑦ コネクションバー x4

⑧ ジョイント x4

⑨ 先入れナット x10

⑩ アルミバー連結用ネジ x20

⑪ 留め具固定用寸切ボルト x10

⑫ 六角棒スパナ x1

⑬ 留め具プレート x4

⑭ ノブナット x10

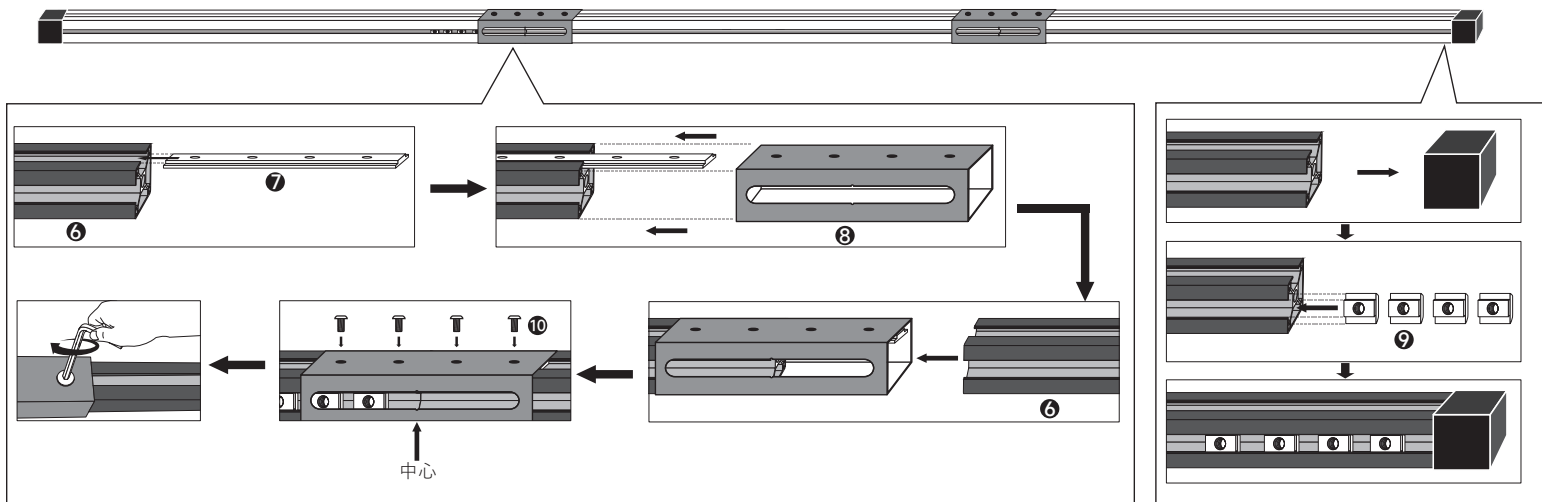
⑮ 安全ベルト x4

⑯ エアマット修理キット x1

⑰ シューズバッグ x2

連結式アルミバーの組み立て方

2/9



1.まず、⑥連結式アルミバーは3本を1本に連結します。バーには2カ所溝が付いているので、3本が同じ向きになるように接続します。
※キャップを外すとアルミバーの先端部は出来る限り面取りしていますが、鋭利な箇所が残っている可能性もあるので、取り扱いには十分気を付けてください。

2.⑦コネクションバーをアルミバーに入れます。(⑦コネクションバーの半分程度)

3.⑧ジョイントを同じように半分までアルミバーに差し込みます。

4.溝の場所を揃えて、もう1本のアルミバーを接続します。

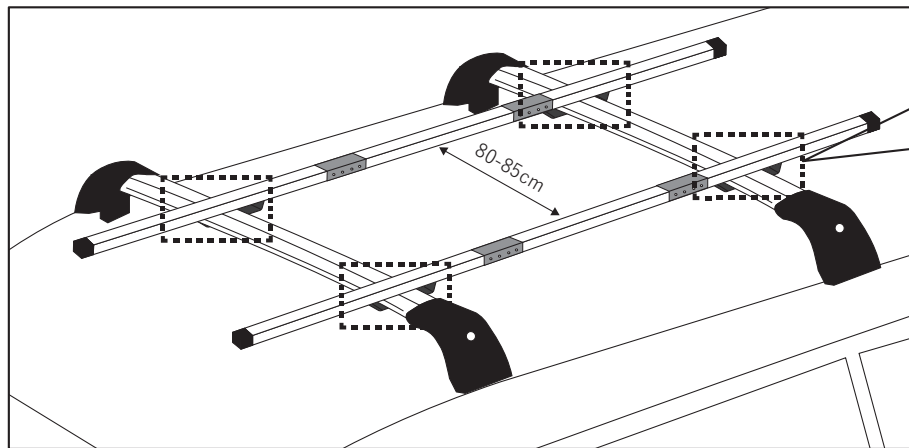
5.⑦コネクションバーと⑧ジョイントのネジ穴を揃え⑩アルミバー連結用ネジでしっかりと固定します。
この時2本のアルミバーの接続部分は⑧ジョイントの中心にあることを必ず確認してください。

6.もう1本も同様に接続します。

7.3本のアルミバーを接続完了したら、⑨スライダー4個を⑥コネクションバーを入れたもう一方の溝に入れます。両端にキャップを取り付けます。

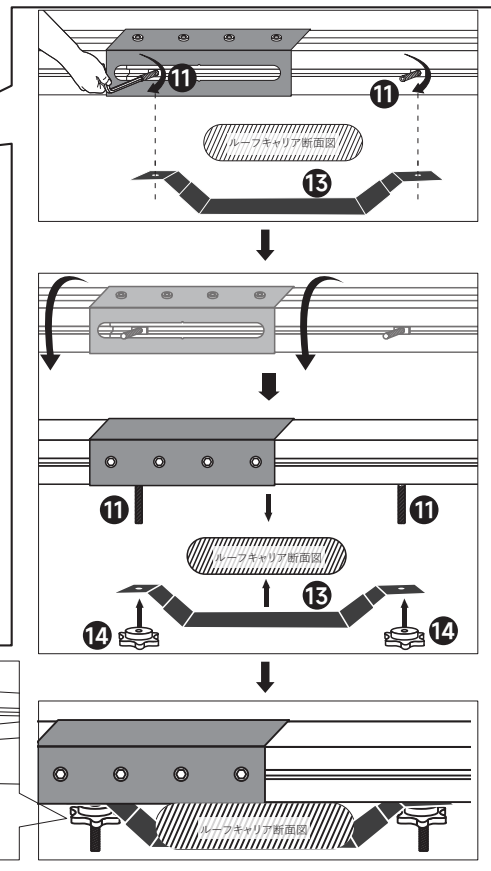
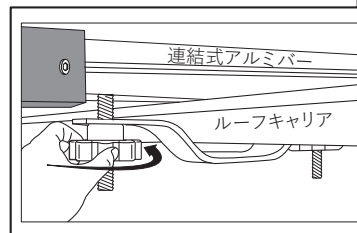
連結式アルミバーの設置方法

3/9



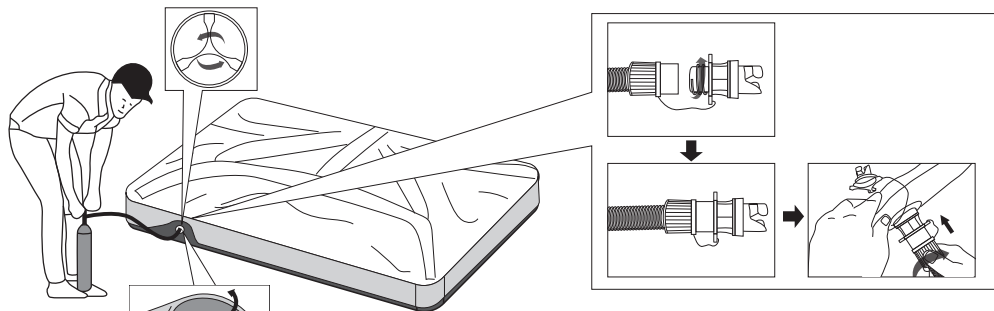
先に組み立てた連結式アルミバー2本を80-85cmの間隔、ルーフキャリアの中央に合わせてバランスよく配置します。

⑨先入れナットをルーフキャリアの前後に移動させ、⑬留め具プレートの長さに合わせ⑪留め具固定用寸切ボルトを締めて固定します。 固定した⑪留め具固定用寸切ボルトに⑬留め具プレートを差し込み⑭ノブナットで締めて固定します。



エアマットの空気注入方法

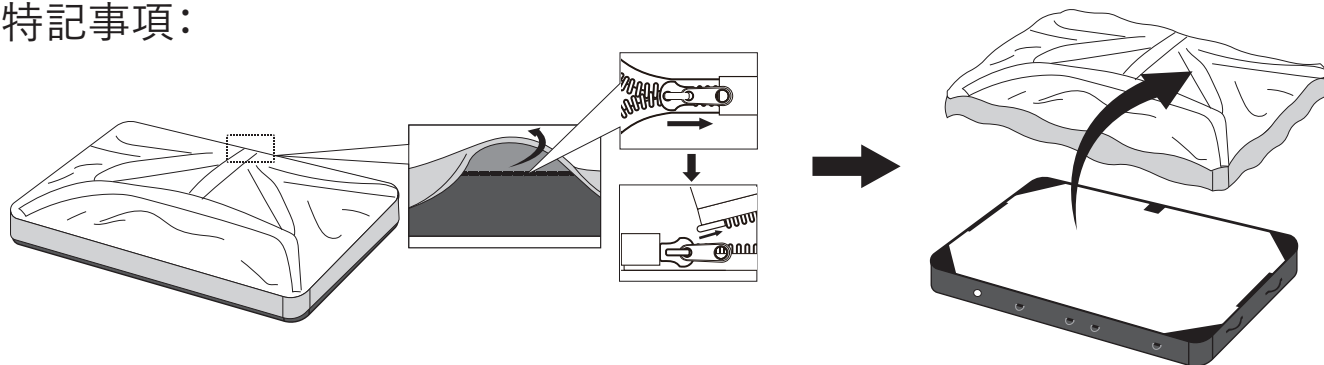
4/9



※エアバルブの中央にあるバルブ弁が出ていることを確認してからノズルを接続してください。
(このバルブ弁が出ている時は中の空気が抜けることはありません。バルブ弁が中に押し込まれている時は空気が抜けます。
空気を抜く際はこちらのバルブ弁を押してください。
勢いよく空気が出ますので顔や物など近づけないようにしてください。)

イラストのように②エアマットの側面にあるエアバルブのキャップを外し、専用ノズルを押しながら時計回りに回して接続します。
接続完了後、ポンプで空気を注入します。ポンプには気圧計が付いています、表記数値が7psi前後で注入完了です。
気圧計は圧がかかる時(空気を注入する時)に針が振れます。

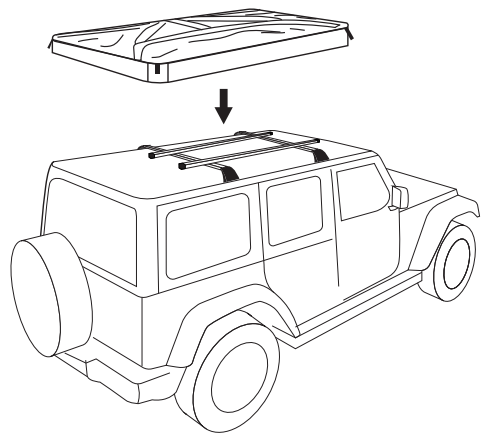
特記事項：



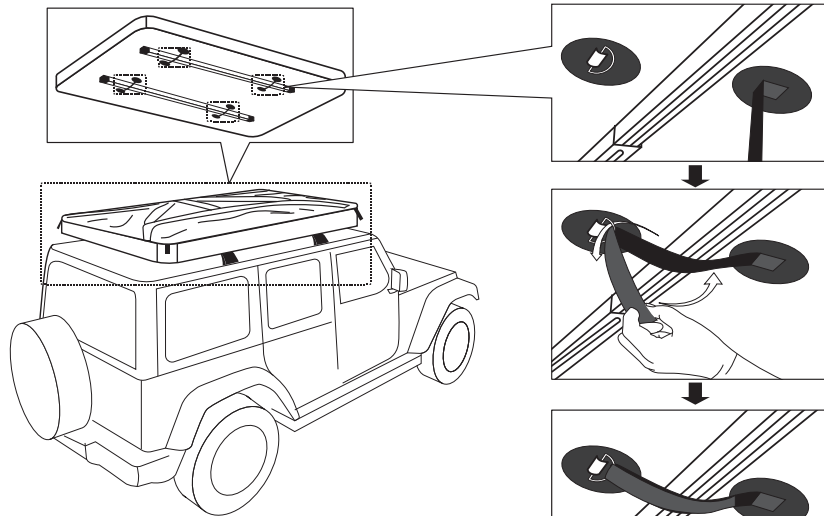
エアフレーム TENT とエアマットはファスナー接続式の為、ファスナーを開閉することで着脱可能です。
メンテナンス作業や清掃時に使用してください。再度使用する際は、必ずファスナーを最後まで閉めて使用してください。

車体に搭載する方法

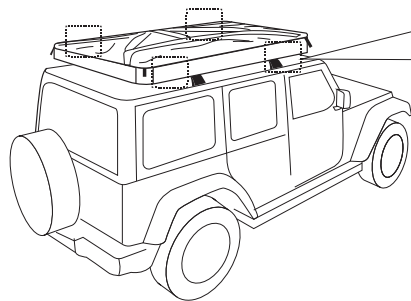
5/9



1. エアマットに空気注入が完了したら、既にルーフキャリアに固定してある連結式アルミバーに載せます。
(予めエアマット裏に付いているマジックテープを外してください。)



2. エアマット裏に付いているマジックテープ付きストラップで連結式アルミバーにしっかりと固定します。(固定後はエアマットがズレないか必ず確認してください。)

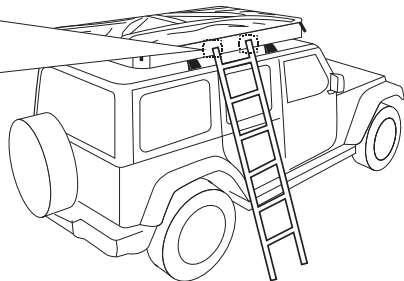
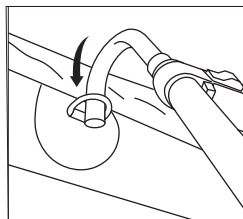


3. 万一の場合に備え、エアマット側面の外側に付いているDカンに⑮安全ベルト4本を通して、キャリア若しくは連結式アルミバーに巻いて固定してください。

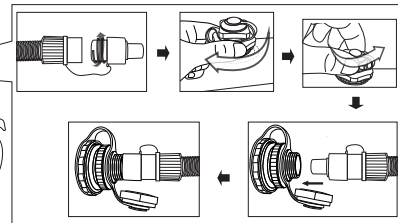
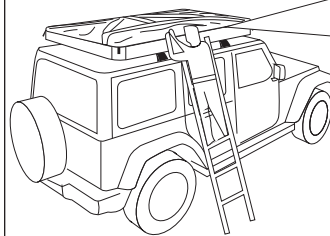
(車種及びルーフキャリアの型式・形状により最適な設置位置が異なりますので、実際の状況に応じて調整してください。)

エアフレームテントの空気注入方法

6/9



1.伸縮式ハシゴを取扱説明書に従い組み立てます。(車種に合わせて高さ調整をしてください。)
伸縮式ハシゴのフック部分をエアマット側面中央部のDカンにしっかりと引っ掛けます。
(伸縮式ハシゴが安定しているかどうかしっかり確認してください。)



2. エアフレームに空気を入れます。 エアマットに腰を掛けて、空気を注入してください。
空気圧は約5psiで注入完了です。

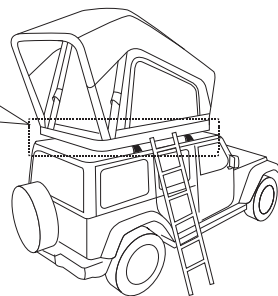
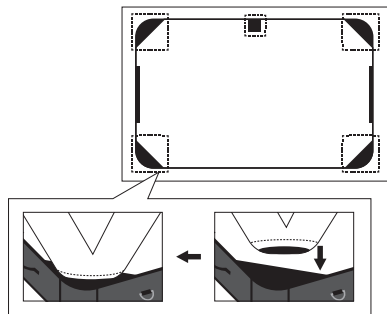
※大変危険ですので、エアマットの上には立たないでください。

※エアバルブは大小の口があります。小は注入、大は排気です。

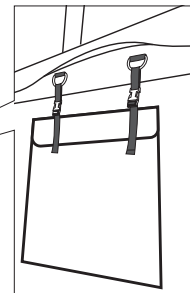
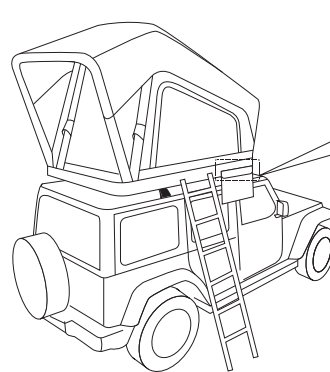
空気注入時は小の蓋を回して開けてノズルを差し込んでください。

同時に大の蓋がしっかりと閉まっていることも確認ください。

(エアバルブは入口に向かって右側のエアフレームに付いております。
予め位置を把握してから使用してください。)



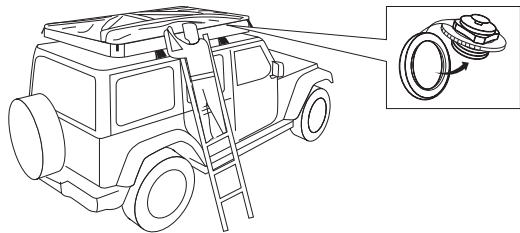
3. エアフレームテント内部に入りエアフレームが所定の位置にあるか確認してください。
所定の位置とはエアマット上にあるマジックテープ上で固定されているか否かです。



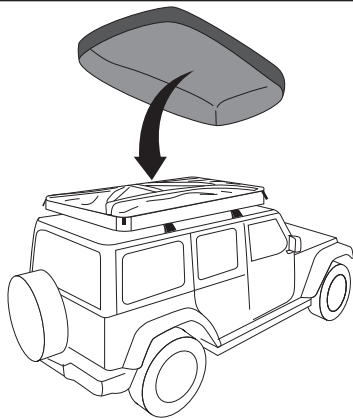
4. 入口右側にある2つのDカンにシューズバッグを掛けることができます。

カバーの使用方法

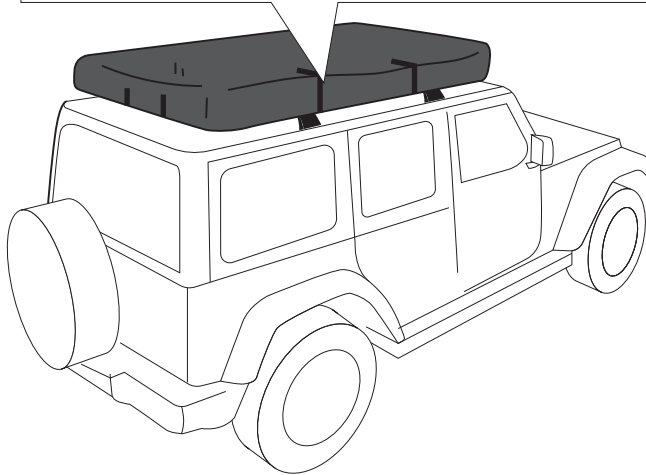
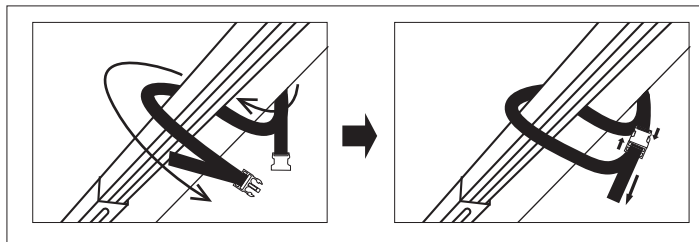
7/9



1.使用後空気を抜く際は、エアバルブの大的蓋を開けて空気を抜いてください。 入り口向かって左側には空気圧調整用のエアバルブ(赤色)が付いています、このエアバルブの蓋を同時に開けて排気することもできます。
(勢いよく空気が出ますので顔や物など近づけないようにしてください。)
再度使用する際は両方のバルブを閉めてから空気を注入してください!



2.テントを取り付けて移動する際は、エアフレームテントの空気を完全に抜き、カバーを取り付けます。
※エアマットの空気は絶対に抜かないでください。



3. カバーに付いているバックル付きベルトで連結式アルミバーもしくはルーフキャリアにしっかりと固定してください。

※使用上の注意※

8/9

- ・テントを取り付けて移動する際は必ず移動の前にルーフキャリア、固定具、すべてが頑丈に固定されているか問題ないことを確認してください！
- ・製品を積んだ車両が道路や高速道路を走行する場合、法定速度を厳守してください！
- ・山道、砂漠などの平坦ではない道路を走行する場合、時速30km/h 以下を維持してください！
- ・ルーフレール、ルーフキャリア、車両の最大積載量をよく確認して使用してください！
- ・テントを収納する時、テント内に雑貨(寝袋、枕など)がないことを確認してください！
- ・テントを取り付けた後、固定ボルトが完全に締められていることを繰り返し点検してください！
- ・テントの上で激しい運動をしないでください！
- ・テントを取り付けて移動する場合は、エアフレームテントの空気のみを抜き、エアマットの空気は抜かないでください！
- ・台風や天候が荒れている場合は、テントを開けないでください！
- ・テントを取り付ける際はキャリアの中心になるようにしてください！

- ・ルーフテントから落下しないよう、お子様から目を離さないで下さい！
- ・大雨時は使用しないで下さい。防水指数以上の雨は雨漏りの原因となります！
- ・雨天時に使用した後は水分を拭き取り乾かしてから保管してください。テント内にカビが発生する事があります！
- ・改造したり、強い衝撃を与えないで下さい！
- ・エアフレームテントを開いた状態で走行しないで下さい！
- ・走行中に開いてしまわない様、全ての固定具を忘れずに固定して下さい！
- ・伸縮式ハシゴはエアマットのDカンに必ず固定してから使用してください！
- ・伸縮式ハシゴをエアマットに固定する際は車に接触して傷が付かないよう気をつけてください！
- ・伸縮式ハシゴを収納する際は手を挟まないよう十分気をつけてください！
- ・地上で使用する際は地面にガラスや鋭利な物がない場所に設置してください！
- ・テント天井には天窓が付いており開けることが出来ますが、立ち上がって天窓を開けた後は速やかに座り、エアフレームに寄りかからないでください。転倒する危険がございます。
- ・上記に従わない場合、発生した事故等について一切責任を負わないものとします。

peakpod